

第30回定期中央本部大会開催!!!

被災された仲間への「救援カンパ」を決定!!!

7月11日(水)～13日(金)にかけて新大阪ワシントンホテルプラザにおいて、本社総支部準備地本のもと「第30回定期中央本部大会」が開催された。会場には、代議員、傍聴者、スタッフ総勢550名が集まった。今大会の開催にあたっては被災された組合員や復旧作業に精励する仲間がいる中において、開催の有無、延期等を検討した上で、開催するに至った。

中央本部を代表して挨拶にたった荻山中央執行委員長は、冒頭、7月5日から7日にかけて発生した西日本豪雨に触れ、被害に遭われた組合員にお見舞いを申し上げるとともに、復旧作業、お客様の安全確保やご案内にあたられているグループを含めた、組合員の尽力に敬意と感謝を述べた。また、今大会の開催にあたり十分な配慮のうえで開催することに對して理解を求めた。

その上で、職場からの安全の確立、労働力不足への対応と「働き方改革」の推進、求心力のある組織づくりと民主化闘争の支援、政策活動と地域活性化にむけた運動の展開、政治参加の積極的な推進と次期統一地方選の勝利の5点にわたり挨拶した。



立候補表明の梶原執行委員と柿本副委員長(広島)

本会議では15名の代議員から、新幹線重大インシデントをはじめとする安全確立などについて、熱い発言があった。京都地本を代表しては、西岡書記長が中央本部へ思いを届けた。発言内容は以下の通り。

●のぞみ34号で発生した重大インシデントについては、新幹線だけの問題ではなく、今自分たちのできることを考え、京都地本としても信頼回復に向けて取り組んでいく。在来線でも発生することも考えられるので様々な角度から近畿協議会を通じて議論を行っていきたいと思う。

●6月18日に発生した大阪北部地震では多くの組合員が駅支援を行い、系統を超えた取り組みが進んでいると考えるが、一方で線閉承認がなかなか下りず点検が遅れた。全線運休の中で線閉を取る必要性を感じず、指令業務の負担となつていないと考える。本部としても会社の考え方を確認されたい。

●NSは早期選抜であったはずであるが、NS通過が係長登用の条件となつている。NSを継続する必要性はないと考えるが、本部の見解を示さ

●駅・車掌区分会から需給が非常に厳しいとの声を多く聞く。「駅の業務体制の在り方」について議論する必要があるが、現在の状況を改善させることも重要だと考えるので、切り離して議論をするように本部へ要請する。

●京都地本管内で汽笛吹鳴の事象が連続して発生している。決められたルールが守られていないことが原因であるが、守りにくいルールになっているのか、教育の仕方に関係がないか確認されたい。

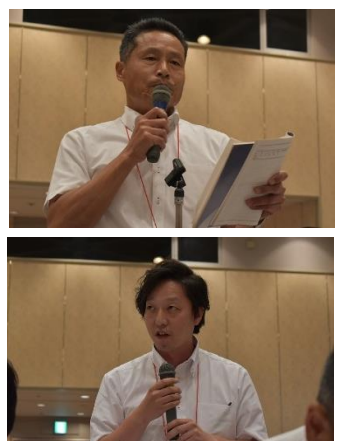
●工務系社員の運転無事故表彰の新設を強く要請する。

●来年の統一地方選では広島地本では柿本副委員長、京都地本では梶原執行委員が立候補する決意を固めた。組織内議員誕生に向け、京都地本一丸となつて広島地本と共に頑張りたい。

第一小委員会は、組織・財政に関わる課題を中心に討議がなされ、33名の委員から発言があった。京都地本からは谷委員が「特定診断利用金制度について」「出産や育児に関する会社制度や教育について」発言した。

第二小委員会は、業務に関わる課題を中心に討議がなされ43名の委員から発言があ

った。京都地本からは、西川委員が「管理室のリーダーのP職化について」「LEDのケース不具合について」、飯山委員が「ダイヤ乱について」、大塚委員が「ダイヤ乱時の乗務員運用について」、徳原委員が「車両系統における女性設備改善」「車両所の近代化工事に伴う異動について」発言した。



最後に上村書記長による総括答弁があり、満場一致で運動方針を確認するとともに、全組合員の参加で、被災された組合員への救援カンパ活動(一人1,000円カンパ)を実施することが確認された。

議長には、広島地本の柿本代議員と、本社総支部の斎野代議員が選出され、最後まで議事をスムーズに進行した。退任の挨拶において、柿本代議員(広島地本副委員長)は来年の統一地方選において立候補する決意を改めて表明し、同じく立候補を表明している京都地本の梶原執行委員と熱い思いのこもったスピーチを行った。

救援カンパについて

6月18日に発生した大阪北部を震源とする「大阪北部地震」及び7月5日から7日に西日本エリアを襲った記録的な豪雨「西日本豪雨」により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。また、家屋の全壊、流出、浸水など、大変な被害に遭われた多くの組合員と家族の皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。

「大阪北部地震」「西日本豪雨」により、被災された組合員への支援への支援等を目的に、救援カンパに取組みます。

1. 実施期間

2018年7月17日～9月30日

2. 取り組み内容

全組合員対象 1人1,000円以上

3. 見舞金

JR西労組・JR西日本連合への被災組合員と退職者協議会に加盟している被災会員への支援等に拠出します。

被災された仲間へ
助け合いの精神を発揮しよう!!!